



卓 話



「資生堂の障害者雇用への取組み

特例子会社 花椿ファクトリーの活動」

花椿ファクトリー(株) 代表取締役社長 齊藤 好氏

資生堂では、企業の社会的責任として、障がい者を採用し十分に能力を発揮してもらい、ともに成長していくことに積極的に取り組むため、2006年1月「特例子会社 花椿ファクトリー(株)」を設立しました。



現在、花椿ファクトリーは2つの事業所をもち、19名の知的障がい者が就労しています。1つは、2006年3月にスタートした「墨田作業所」です。事業内容は、資生堂のメーキャップブランドの「化粧惑星」や「インテグレート」などのレーベル貼りや1個ケースに詰める加工・セット等を行っています。作業方法は、知的障がい者の苦手な点をカバーする工夫をし、生産方法を標準化することで

「品質第一」「不良品ゼロ」を目標に生産活動に励んでおり、素晴らしい実績をあげています。彼等のまじめさ、ていねいな仕事、集中力があるという優れた面の特性と仕事はずばりマッチングした結果だと思っています。

この墨田作業所での活躍ぶりをみて、他の職域での可能性を確信して、資生堂の本社ビルのなかで、ビルメンテナンス業務を行う「汐留事業所」を2007年3月に開設しました。ビル各階にある資源・廃棄物ステーションの回収、コピー用紙の補充、機密書類の回収と裁断処理等を行っています。他にも、本社部門や関係会社から、資料封入や販促物のセット等の業務受託も行っています。

ここでも予想を上回る活躍ぶりで、資生堂の社員から、彼等の元気で明るい挨拶や礼儀正しさ等について多くの反響があがっています。まさに障がいのある彼等自身が『誰もがいきいきと働くことができる』ということを私たちに教えてくれています。今後もさらなる職域開発に取り組み、障がい者の自立と雇用促進を実現していきます。